

台灣統治期重要雜誌總目錄シリーズの第4集!!

# 『台灣民報・台灣新民報』 綜合目錄

— 付 台灣青年・台灣 —

中島利郎 編

(一) 第六百三號 報 民 新 灣 臺 日九廿月三年五國民華中 (中華民國二十三年五月廿九日)

**純無鉛**  
內外各科  
如本社附屬醫院  
醫師 醫師 醫師  
主任 醫師 醫師  
主任 醫師 醫師  
主任 醫師 醫師  
主任 醫師 醫師

**新竹白粉**  
▲新竹白粉  
▲新竹白粉  
▲新竹白粉

**實川金庫**  
▲實川金庫  
▲實川金庫  
▲實川金庫

▲新竹白粉  
▲實川金庫

臺灣新民報

刊 週  
行發日曜土無  
廣告

全2卷

THE TAIWAN MINPAO  
**報 民 灣 臺**  
(號 刊 創)

氏 臣 屈  
**久咳藥散**  
試驗見水無料效果  
長電話三三

THE TAI OAN CHHENG LIAN  
**臺灣青年**  
號 刊 創

目 要 期 本

發刊詞	一頁
中華之將來	三頁
二十一條日華協約歷史	七頁
新聞與社會之關係	八頁
國際聯盟的使命	九頁
婦人參政權運動	一〇頁
田總督訪問記	一一頁
帝國議會大事記	一二頁
製糖株之將來	一三頁
中國留日學生的大示威	一四頁
喜劇轉身大事	一五頁
關於婚姻之常識	一六頁
韓立白話文研究會宣言	一七頁

THE FORMOSA  
**灣 臺**  
1922

國際和平的心理的觀察  
民族運動の發展  
宗教與社會の關係  
生物の進在生理に就て  
臺灣議會設置問題に就て  
現行教育問題に就て  
我國內情之回顧  
新世界之秩序與中國問題  
太平洋會議與中國問題

號一第 號月四年三第

綠蔭書房

## 編者の言葉

本書は、既刊の『台湾時報総目録』『台湾警察協会雑誌・台湾警察時報総目録』『台法月報総目録』に続く「日本統治期台湾重要雑誌総目録シリーズ」の第四冊目として刊行するものである。

既刊の三誌はいずれも台湾総督府に所属し、台湾統治を目的とする行政、警察及び司法関係者によって編集発行された日本人主体の統治者側の雑誌であった。それに対し、今回刊行の『台湾民報・台湾新民報』（付・台湾青年、台湾を含め四誌を取録）は創刊以来、台湾人の総督府への不満と反抗の精神が誌面に満ちた「台湾人唯一の言論機関」誌であった。

台湾人の東京留学生は民族的覚醒と啓蒙運動のための機関誌として大正9（1920）年7月、雑誌『台湾青年』を創刊した。『台湾青年』は『台湾』に成長し、『台湾民報』『台湾新民報』と成熟して誌面も充実し、総督府と全面的に対立するようになる。その過程は台湾人自身による言論機関の確立の歴史であり、抗日運動全般の指導的な言論機関への成長の歴史であった。本誌は1920年代から30年代にかけての日本統治後半期の抗日運動を担った台湾の知識人たち（林獻堂、蔡恵如、蔡培火、蔣渭水、黄呈聡などに代表される人たちが）、その青春を賭け、希望を託し、時には命懸けで日本人に抗った記録である。

本書は、そのような台湾人の記録が四誌同時に通覧できるように編集したものであり、後期抗日史研究及び抗日運動と不可分の新文化運動（文化啓蒙運動・新文学運動）研究に必備の工具書である。

（第2巻組見本）

### 昭和八年『台湾新民報』所載文学関係目

★第九一〇号（昭和八年九月一日日）

<六>1頼慶作・顔水龍画「女性の悲曲（二五）」

★第九一一号（昭和八年九月二日土）

<六>1頼慶作・顔水龍画「女性の悲曲（二六）」

<八>2茅盾「騒動（一七）」

2鶏籠生「蜜月旅行記（七）」

2楊也是「花謝了」「愛的呀！別了」（曙光）

2胡南溟「黄河曲（二）」（漢詩）

★第九一二号（昭和八年九月三日日）

<六>1頼慶作・顔水龍画「女性の悲曲（二七）」

<八>2茅盾「騒動（一八）」

2鶏籠生「蜜月旅行記（八）」

2胡南溟「黄河曲（三）」（漢詩）

# 日本統治期台湾重要雑誌総目録 「日本人主体の統治者側」の雑誌 た四誌は、台湾人の総督府へ に満ちた「台湾人唯一の言論

1-1/1923

大正

★第一巻第一号<通号1>(4.15)

1 創刊詞

2 祝台湾民報創刊

2 对台湾青年之希望

▼評論

3 中華之将来

4 二十一条日華協約歴史

6 荀卿非宋鉏寡欲說申論

7 國際聯盟の使命

8 新聞与社会之關係

10 世界政治の新傾向

11 婦人参政運動

11 田總督訪問記

12 議會閉会的感想

▼内外時事

13 攝政宮殿下行啓台湾／漢学振興案  
壳／帝國議會大事記／張内閣總辭  
普選解決以國民總投票之義／水平  
大野医学博士的凌辱事件／台湾議

▼經濟界

18 製糖会社与製糖株之将来

▼学界

19 中国留日学生大示威運動／留東台

▼俱樂部

20 喜劇 終身大事（上）

▼小説

23 賢内助

25 兒童文学 不倒翁

25 詩壇（芳園、漱心）

▼応接室

26 到廈門讀書要怎樣領護照

目録シリーズの既刊三誌が  
雑誌に対し、今回本書に収め  
の不满と反抗の精神が誌面  
機関」誌である。

49

十二年

慈舟  
蔡鉄生  
芳園  
  
羅素  
超今  
王悦之  
劍  
劍  
錫舟  
劍如  
劍如  
超今

通過衆議院了／万国禁烟会反対鴉片官  
職之経過／勞農政府大政官礼寧病危／  
社員の平等待遇運動／殺傷事件頻発／  
会請願委員会／二十一条之無効通告

台湾青年会畢業歡送会盛況

北京国立大学教授 胡適

趙經世  
袁青柳

超今

(第1巻組見本)

## 本書の構成と特色

- 本書は全2巻で、第1巻には総記事目録を収録し、第2巻には、総合著者名索引、発行一覧、付録を収録した。
- 第1巻では、台湾青年雑誌社発行『台湾青年(大正9年7月～同11年2月、全19冊(訂正版一冊を含む))』、台湾雑誌社発行『台湾』(大正11年4月～同13年5月、全19冊)、台湾雑誌社後に台湾民報社発行『台湾民報』(大正12年4月～昭和5年3月、第1号～第305号、但し第284号欠)、台湾新民報社発行『台湾新民報』(昭和5年3月～同7年4月、第306号～第410号、但し第318号欠)のすべてを通覧できるようにした。なお、『台湾新民報』は第411号より日刊紙となるが、第2巻の3「付録」に収録した昭和八年度の新聞の一部以外は、現在のところ日本、台湾を含め未発見である。
- 第2巻の1「総合著者名索引」は、『台湾青年』『台湾』『台湾民報』及び『台湾新民報』各誌執筆の著者を一覧できるようにした。
- 第2巻の2「『台湾青年』『台湾』『台湾民報』『台湾新民報』発行一覧」は四誌の出版事情が解るように付載した。
- 第2巻の3「付録」には、①「昭和八年度(1933)『台湾新民報』所載文学関係目録」及び②「昭和八年度『台湾新民報』所載社説(影印)を収録した。八年度で残存する『台湾新民報』の社説を全て収録した。現在、閲覧が難しいため、本誌の一部でもみることができるのは本書のみである。
- 本書の底本は、すべて台湾・東方文化書局の影印版を使用した。
- 四誌の目録及び著者名索引に関しては、すでに台湾の雑誌『台湾風物』(台湾風物雑誌社)に、各誌毎の目録が分載されており、また東方文化書局の影印本にもそのプリント版が付載されているが、それらは「要目」であり、すべての記事を採録したわけではない。従って著者名索引もかなりの遺漏がある。本書では各誌掲載の細目もすべて収録し、執筆したすべての著者も一覧できるようにした。

## 台湾統治期重要雑誌総目録シリーズ

### 『台湾時報』総目録

中島利郎 編／本体価格18,000円

### 『台湾警察協会雑誌』 『台湾警察時報』総目録

中島利郎・林原文子 編／本体価格18,000円

### 『台法月報』総目録

中島利郎・宋宜静 編／本体価格18,000円

# 『台湾民報・台湾新民報』 総合目録

— 付 台湾青年・台湾 —

- ◆中島利郎[岐阜聖徳学園大学教授]
- ◆全2巻・A5判上製クロス装・総880頁
- ◆定価[本体32,000円+税](分売不可)
- ◆ISBN4-89774-029-0 C3022

緑蔭書房 東京都板橋区板橋1-13-1 ☎03(3579)5444

〈植民地下台湾関連図書〉

◆'98年7月刊(編集復刻版)

## 日本統治期台湾文学 日本人作家作品集

中島利郎・河原功 編

全五巻・別巻一 / 四六判・上製クロス装 / 本体価格58,000円

◆'99年7月刊(編集復刻版)

## 日本統治期台湾文学 台湾人作家作品集

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲 編

全五巻・別巻一 / 四六判・上製クロス装 / 本体価格58,000円

◆'00年3月刊

## 日本統治期台湾文学研究文献目録

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲 編

全一巻 / A5判・上製クロス装 / 本体価格12,000円

◆'99年2月刊(編集復刻版)

## 改訂増補 臺灣六法

台湾日日新報社編(昭和九年版)

全一巻 / B5判・上製クロス装 / 本体価格50,000円

特約店